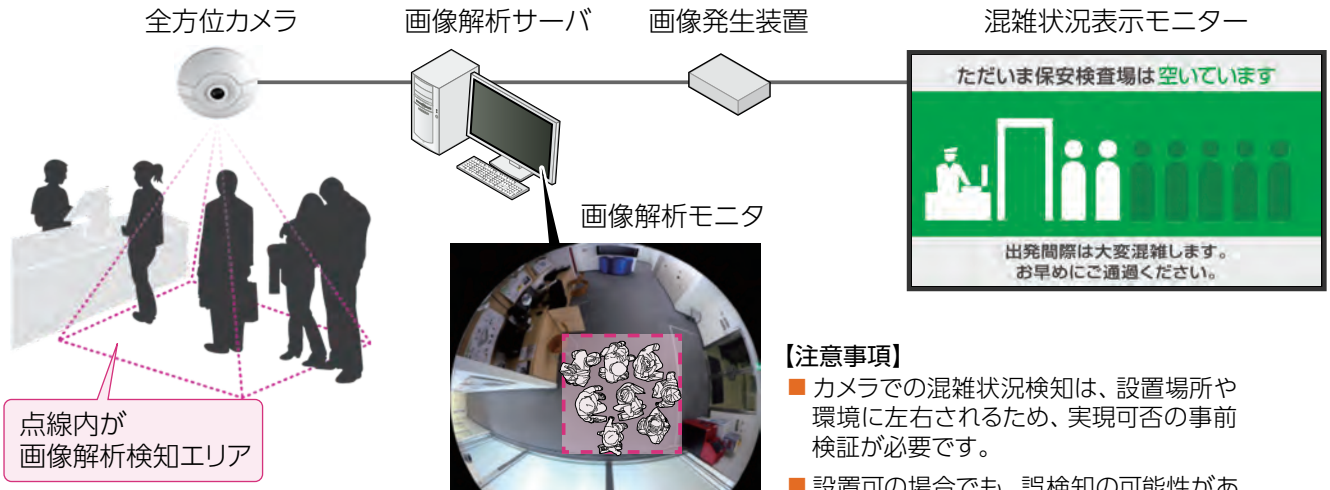
画像解析による混雑状況表示

画像解析技術と案内装置の連携により混雑状況を自動で表示します

- IPカメラの撮影画像に画像解析エリアを設定します。
- 画像解析はリアルタイムで行い、画像解析エリア内に滞留する人数をカウントします。
- カメラからの混雑状況を案内装置へ入力し、混雑状況に応じた表示を任意のモニターへ自動的に行います。

システム構成



【注意事項】

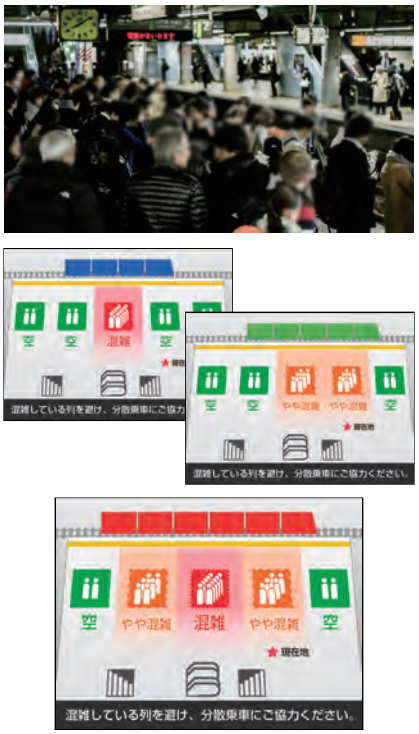
- カメラでの混雑状況検知は、設置場所や環境に左右されるため、実現可否の事前検証が必要です。
- 設置可の場合でも、誤検知の可能性がありますので、最終的にはお客様で混雑状況を判断いただく必要があります。

導入イメージ

空港では…

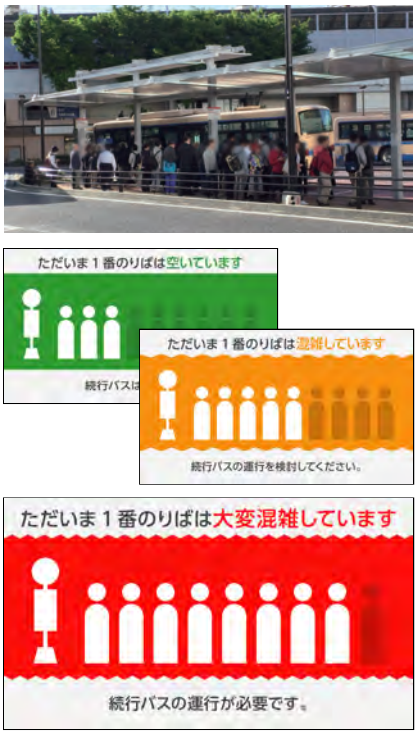
保安検査場の混雑表示として

駅のホームでは…



分散乗車の案内表示として

バス停では…



続行バス 運行判断の表示として

© 2018 株式会社 京三製作所

KYOSAN